

平成30年2月19日

保護者様

山鹿市立めのだけ小学校

校長 篤永 高志

教育活動等に関する評価アンケートについて

余寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期に実施しました「教育活動に関する評価アンケート」の結果を、2月15日に開催しました学校評価委員会に諮り、評価、協議等を行いました。つきましては、その結果をまとめましたので、配布いたします。

開校1年目の教育活動も、残り1ヶ月程となりましたが、今回のアンケートや学校評価委員の皆様のご意見を今後及び次年度の学校運営に生かし、全職員一丸となって、児童の教育に努めて参ります。保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

めのだけ小学校 教頭 松村

43-1179

教育活動等に関する評価アンケート集計結果

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

100点換算で、3.4は80点、3.1は70点になります。この評価では、3.4以上を◎、3.3～3.1を○、3.0以下を△と表しています。

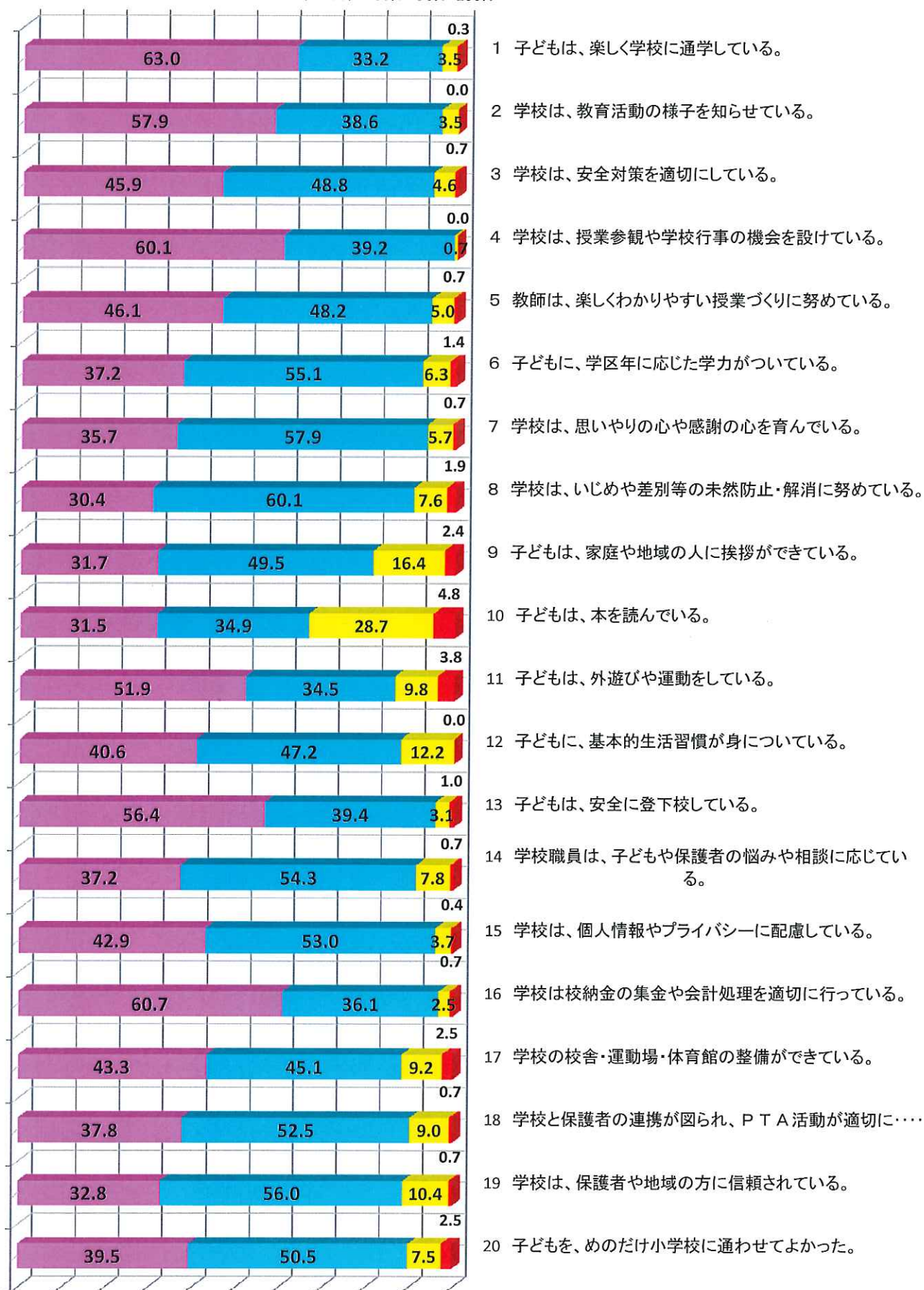
設 問 内 容	保護者の評価					子どもの評価	教師の評価
	4の割合 (%)	3の割合 (%)	2の割合 (%)	1の割合 (%)	評価の平均		
1 子どもは、楽しく学校に通学している。	63.0	33.2	3.5	0.3	3.6 ◎	3.7	3.5
2 学校は、学校の教育活動の様子を学級だより、学校だよりなどで家庭や地域に知らせている。	57.9	38.6	3.5	0.0	3.5 ◎	3.5	3.5
3 学校は、安全(大雨、台風など)や不審者などへの対策を適切にしている。	45.9	48.8	4.6	0.7	3.4 ◎		3.4
4 学校は、授業参観や学校行事などに参加する機会を適切に設けている。	60.1	39.2	0.7	0.0	3.6 ◎		3.6
5 教師は、楽しくわかりやすい授業づくりに努めている。	46.1	48.2	5.0	0.7	3.4 ◎	3.6	3.2
6 子どもに、学年に応じた学力がついている。	37.2	55.1	6.3	1.4	3.3 ○	3.5	3.0
7 学校は、子どもに思いやりの心や感謝の心などを育てている。	35.7	57.9	5.7	0.7	3.3 ○	3.7	3.3
8 学校は、いじめや差別、問題行動等の未然防止や解消に努めている。	30.4	60.1	7.6	1.9	3.2 ○	3.8	3.4
9 子どもは、家庭や地域の人に挨拶ができています。	31.7	49.5	16.4	2.4	3.1 ○	3.8	2.5
10 子どもは、本を読んでいる。	31.5	34.9	28.7	4.8	2.9 △	3.7	3.3
11 子どもは、外遊びや運動(部活動、習い事を含む)をしている。	51.9	34.5	9.8	3.8	3.3 ○	3.7	3.2
12 子どもに、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ご飯、歯磨きなど)が身についている。	40.6	47.2	12.2	0.0	3.3 ○	3.5	3.0
13 子どもは、安全に登下校している。	56.4	39.4	3.1	1.0	3.5 ◎	3.9	3.2
14 学校職員は、子どもや保護者の悩みや相談に適切に応じている。	37.2	54.3	7.8	0.7	3.3 ○	3.8	3.4
15 学校は、個人情報やプライバシーに配慮している。	42.9	53.0	3.7	0.4	3.4 ◎	3.8	3.5
16 学校は校納金(学級秘、PTA会費、給食費など)の集金や会計処理を適切に行っている。	60.7	36.1	2.5	0.7	3.6 ◎	3.6	3.8
17 学校の校舎・運動場・体育館の整備ができています。	43.3	45.1	9.2	2.5	3.3 ○		3.1
18 学校と保護者の連携が図られ、PTA活動が適切に行われている。	37.8	52.5	9.0	0.7	3.3 ○		3.5
19 学校は、保護者や地域の方に信頼されている。	32.8	56.0	10.4	0.7	3.2 ○		3.2
20 子どもを、めのだけ小学校に通わせてよかった。	39.5	50.5	7.5	2.5	3.3 ○	3.8	3.3

保護者アンケート調査期間;10/27～11/6 回収率94.1%

保護者による評価

■ あてはまる
 ■ ややあてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ あてはまらない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



教育活動等に関する評価アンケートの考察

アンケート集計結果の数値を、100点満点に換算しますと、ほぼ次のようになります。

4. 0	(100点)
3. 7	(90点)
3. 4	(80点)
3. 1	(70点)
2. 8	(60点)
2. 5	(50点)

このアンケートでは、「3. 3以下」(80点以下)の設問につきまして、考察をしており、保護者、児童、教師の評価がともに「3. 4以上」の設問1、2、3、4、15、16につきましては、考察を省略しています。今後もさらに評価が向上しますよう、全職員一丸となって努力して参ります。

5 教師は、楽しくわかりやすい授業づくりに努めている。

教師が、「3. 2」で、さらに取り組む必要があるという評価でした。学校では、全職員挙げて国語を中心に据え、授業改革に取り組んでいるところです。また、統合前の4校の学習の仕方を「めのだけ小」のやり方に統一すること(めのだけスタンダードの確立)にも努めてきました。今後も、学習課題の設定、見通しが持てる展開、学び合い、まとめ等を工夫しながら、子どもが「楽しい」「分かる」授業づくりに努めていきます。

6 子どもに、学年に応じた学力がついている。

保護者は「3. 3」、教師は「3. 0」という評価でしたが、5月の全国学力調査(6年生)、11月の熊本県学力調査(3年生～4年生)では、全学年とも全国・熊本県平均を上回っております。今後も設問5の授業づくりに力を入れながら、めのっ子タイムを中心に基礎的・基本的の事項の徹底定着を図っていきます。ご家庭でも子どもに「宿題は済んだ？」と声をかけていただきますようお願いいたします。

7 学校は、思いやりの心や感謝の心を育てている。

保護者、教師ともに「3. 3」でした。道徳や人権学習を核とし、すべての教育活動の基盤として思いやりや感謝の心を育てていくように努めています。しかし、時折、人を見下したり、けなしたりする言動があります。その時その時の指導が大切ですので、子どもたちの様子を見逃さないようにし、言動を振り返らせながら指導をしていきます。

8 学校は、いじめや差別等の未然防止・解消に努めている。

保護者が「3. 2」と「もう少し」という評価でした。学校では、日常の観察や相談に加え、月に1回の児童アンケート調査と教育相談の実施、毎週職員間での連絡会を実施し、課題があれば、対策会議、ケース会議等を開催しながら、いじめや差別等の未然防止・解消に努めているところです。また、計画的に人権学習や人権集会等を実施しています。今後もさらに実態に応じた指導、心に響く道徳・人権教育を進めていきます。お子様の様子の変化に気づかれた場合は、遠慮なく担任に連絡ください。

9 子どもは、家庭や地域の人に挨拶ができています。

子どもの評価は、「3. 8」と高いのですが、保護者は「3. 1」、教師はさらに低い「2. 5」という評価でした。朝の校門でのあいさつは比較的よくできていますが、それ以外はまだまだです。一人一人が自ら気づき、いつでも、どこでも、誰にでも元気で気持ちの良いあいさつができるように様々な機会を通して指導していきます。また、ご家庭でも家庭内や地域でのあいさつの大事さをご指導ください。

10 子どもは、本を読んでいる。

保護者が「2. 9」と全設問の中で一番低い評価でした。学校では、朝読書や保護者・地域の方による読み聞かせを行い、個人差はありますが、貸し出し冊数は高学年でも一人100冊を越えています。(12月末現在)低中学年は、家でも借りた本を読んでいると思いますが、部活や宿題、習い事等で時間がない高学年児童は、家で読む機会があまりないのではと思われます。「読書より、勉強や部活、習い事」優先なのかもしれませんが、「ゲームやテレビより読書が好き」という子どもが増えるよう、本と親しむ機会をさらに設定していきます。

11 子どもは、外遊びや運動をしている。

保護者「3. 3」、教師「3. 2」という評価でした。学校では、二時間目の終了後にランランタイムを設け、運動量の確保を図っています。また、めのだけ小になり児童数が増えたため、雨天時でなくても昼休みに体育館を使用できるようにしています。また、持久走大会や縄跳び大会などを行い、運動に親しむようにしているところです。今後は、ボールなどの遊び道具を充実させ、さらに外遊びが増えるようにしていきます。

12 子どもに、基本的生活習慣が身についている。

教師の評価が「3. 0」と低めでした。学校では、早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き、テレビやゲームの時間等、基本的生活習慣についての保健学習をしています。しかし、定着を図る指導の中心は家庭になります。PTAの努力目標に掲げて取り組む等、家庭と学校と連携しながら進めていく必要があります。

13 子どもは、安全に登下校している。

教師が「3. 2」で「もう少し」という評価でした。開校から今まで、大きな交通事故は起きてはいません。保護者の皆様、地域の皆様にも、見守りを行っていただいています。スクールバスの乗り降りに時間がかかったり、車中でのマナーには課題がありますので、今後も定期的に指導をしていきます。

14 学校職員は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。

保護者の評価が「3. 3」でした。子どもの相談につきましては、設問8のような対策により、一人一人に寄り添い相談をするように努めています。保護者からの相談につきましては、保護者と関係職員が学校内で話し合ったり、専門家に来校いただき助言をお願いしたりして課題の解消を図っているところです。今後も、子どもと教師、保護者と教師の信頼関係を強めながら、相談しやすい体制を整えていきます。

17 学校の校舎・運動場・体育館の整備ができています。

教師が「3. 1」と低めの評価でした。保護者の皆様には、年に2回の奉仕作業により、環境整備にご尽力いただいております。施設、遊具の安全につきましては、毎月1回、点検を行い、修理改善を行っています。子どもの掃除につきましては、「無言掃除」に取り組んでいますが、まだ「無言」には至っておりません。今後も環境整備、無言掃除に努め、安心安全な学校、美しい学校を目指していきます。

18 学校と保護者の連携が図られ、PTA活動が適切に行われている。

保護者は「3. 3」という評価でした。PTA活動は年間計画に沿って、役員会及び合同委員会で協議し実施しています。ただ、今年は統合1年目で、児童数もP数も大幅に増えた中での実施でしたので、リサイクル活動や奉仕作業、プール監視、運動会準備、絆フェスティバル等で混乱もあったと思います。次年度は、本年度の反省を生かしてスムーズ、適切な運営に努めていきます。

19 学校は、保護者や地域の方に信頼されている。

保護者、教師とも「3. 2」と「もう少し」という評価でした。学校としましては、保護者や地域の方々の意見を伺い、ご支援・ご協力をいただきながら教育活動を進めていきたいと思っています。ご意見、ご要望は、担任やPTA役員さん等を通して、あるいは直接校長や教頭までお伝えいただければと思います。また、学校や子どもの様子につきましては、学校・学級便りでお伝えしていますが、ホームページも開設しております。今後充実を図っていきます。（「めのだけ小学校」で検索してください。）

20 子どもを、めのだけ小学校に通わせてよかった。

保護者、教師ともに評価は「3. 3」でした。評価が「4」と「3」の保護者を合わせると90%になりますが、アンケートの全設問を総合しての評価だと考えており、「もう少し努力をしてほしい。」との評価だと受け止めています。皆様方の評価を、今後及び次年度の教育活動に生かしていきます。

学校評価アンケート（学校評価委員） 4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまり思わない 1 思わない

評 価 項 目		評価の平均	
1	子どもは、楽しく学校に通学している。	3.8	◎
2	学校は学校の教育活動の様子を学級だより、学校だよりなどで家庭や地域に知らせている。	3.8	◎
3	学校は、災害（大雨、台風など）や不審者などへの安全対策を適切に実施している。	3.2	○
4	学校は、授業参観や学校行事などに参加する機会を適切に設けている。	3.6	◎
5	教師は、楽しくわかりやすい授業づくりに努めている。	3.4	◎
6	子どもに、学年に応じた学力がついている。	3.2	○
7	学校は、子どもに思いやりの心や感謝の心などを育てている。	3.4	◎
8	学校は、いじめや差別、問題行動等の未然防止や解消に努めている。	3.8	◎
9	子どもは、家庭や地域の人にあいさつができています。	3.6	◎
10	子どもは、本を読んでいる。	2.4	△
11	子どもは、外遊びや運動（部活、習い事を含む）をしている。	3.0	△
12	子どもに基本的な生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯、歯磨きなど）が身についている。	3.2	○
13	子どもは、安全に登下校している。	3.8	◎
14	学校職員は、子どもや保護者の悩みや相談に適切に対応している。	3.4	◎
15	学校は、個人情報やプライバシーに配慮している。	3.8	◎
17	学校の校舎・運動場・体育館の整備ができています。	3.6	◎
18	学校と保護者との連携が図られ、PTA活動が適切に行われている。	3.4	◎
19	学校は、保護者や地域の方々に信頼されている。	3.4	◎
20	保護者は、子どもを、めのだけ小学校に通わせてよかったと思っている。	3.4	◎

ご意見ご感想、協議事項

<参観した授業について>
 ○子どもたちは、よく集中していた。よそ見をしている子どもがいなかった。
 ○学校へ行こう会でもあり、保護者の参観があつてよかった。
 ○グループでの学習が少ないように思った。
 ○六年生がよく発表していた。的確な受け答えができ、堂々としていた。
 ○学年に応じて姿勢良く取り組んでいた。
 ○丁寧な授業づくりがなされ、教師が子どもの考え・思いを受け止めていた。
 ○マスクをしていない児童もいた。インフルエンザ防止のために、教室でのマスクを徹底する必要がある。
 ○マスクは、スクールバスの中でも着用徹底を。

<子どもたちの生活について>
 ○地域でのあいさつは、よくできている。
 ○登校班でもよくあいさつをしてくれる。朝、保護者が気持ちよく送り出してくれると、あいさつの声も明るくなる。
 ○学校が休みの時、外で遊んでいない。
 ○ほとんどは室内でのゲームだと思われる。体力の低下も懸念される。
 ○昔は、よく外で遊んだ。そこで先輩から教えられることも多い。

<保護者・地域との連携について>
 ○アンケート19番「学校は保護者や地域の方々に信頼されている」は、評価がやや物足りない。どんなところが不満なのか分析をする
 とよい。
 ○統合により、距離が離れ、目が離れ、心が離れ、本当に大丈夫か不安になるようだ。信頼関係を確立するには時間もかかるが、双方が
 努力していくしかない。
 ○地域作りという点で、南島神社や公民館を利用してほしい。
 ○商工会で、6年生に旧4校にある史跡巡りを実施したが、地域を大切に思う心を育てたい。
 ○地域の方をお願いすると、何でもしてくれる。学校も助けを求め、声をかけるといい。地域と密着することで学校の教育力も高まる。
 ○地域との連携によって、つながり、信頼関係ができ、学校も認めてもらえるようになる。
 ○PTA活動では、もっと地域の方にも行事を周知していきたい。そうすれば参加も多くなり、理解・協力も得られる。

<学校の施設設備について>
 ○給食室の乾燥状況について現状はどうか。
 ○湿気が多い。教育委員会にはドライシステムの導入を働きかけていきたい。
 ○運動場や体育館が狭い。卒業式に全校児童が入れないのは気に掛かる。
 ○運動会では、全児童がまとまっていた。きびきびと動いていて感動した。